

ストップ温暖化センターみやぎ『通信』Vol.43

"地球温暖化のウソ"を暴く?!

今、書店に行くと温暖化関連のコーナーがあるくらいに環境や温暖化への意識が広く一般常識として定着してきました。中学受験にも環境問題が出るほどです。そんななかで注目を集めるのが、「温暖化懐疑論」と言われる“温暖化は起きていない”“CO₂が原因ではない”“温度は下がっている”“リサイクルは意味がない”をテーマに書いた本たち。実際に、本当はどうなの?と子どもに聞かれたら困っていませんか?

例えば、「温暖化って本当におきているの?たまたまなのでは?気温が下がっているところだってある」という問いがあります。確かに、世界の中では気温が下がる傾向の地域もあれば、去年よりも冷夏だったりします。ですが、すべての地域や気温の変化の歴史を広い目で見るときには、確実に温度は上がっているのです。

二酸化炭素が温暖化を起こすことは、多くの科学者が認めています。逆にそれを否定したり疑ったりする科学者も少数ですが、います。その科学者の論文を引用したり、1つのデータを元にして、「だから温暖化はウソだ」と説くのが温暖化懐疑論なのです。

温暖化は一地域やひとつのデータだけで論じられる小さな話ではありません。世界中で研究を重ねた数千人の専門家のデータや論文を元に、集約し、最も確からしい評価を提供するのが IPCC (気候変動に関する政府間パネル) です。

温暖化懐疑論は温暖化の知識を深める良いきっかけとなります。ぜひ、書店にある温暖化懐疑論とそれに反論する書籍を一読してみてください。さらに自信を持って環境問題に取り組めるのではないのでしょうか。

エコ de スマイルコンテスト in みやぎ 2009 速報!

宮城のエコな取り組みを募集し、広く紹介していくことで温暖化防止を呼びかけていくエコ de スマイルコンテスト。

3年目となる今年は、2007年の61件、2008年の69件を上回る76件ものご応募をいただきました! 皆様のご協力・ご支援誠にありがとうございました。

個人や団体での取り組みなど、たくさんのアイデアあふれる取り組みが集結しました! ホームページでご紹介していますのでぜひご覧ください。

そして、9月29日(火)に第1次選考会を行ない、20件の通過団体が決定しました!

その20団体が、10月31日(土)仙台国際センターにて開催の宮城県大会で、5分間の活動発表をします。各賞が決まる決戦の場、ぜひ応援に、また活動の参考としてぜひお越しください。

【応募者 一例紹介】



LED電球で自在にデザイン ピカボード



ダンボールや古紙を使って絵本作り



個人のお庭をビオトープに



七夕祭りの竹の炭を使った布染め



幼稚園と一緒に市役所にグリーンカーテン

エコ de スマイルコンテスト in みやぎ 2009 宮城県大会

- ◆ 10月31日(土) 13:00 ~ 17:00
- ◆ 仙台国際センター 橘
- ◆ 定員: 200名 要申込み(当日参加も可)
- ◆ 5分間の活動発表、表彰(最優秀賞1件・優秀賞9件・特別賞2件)、パネル展示。